



短髪卒業

「清潔感のある髪型」
生徒の念願かなう

中学校の頭髪規定が12月16日に改正され、長髪が認められました。この改正が行われるにあたっては、生徒会を中心に全校生徒が一丸となって、頭髪規定の内容はもちろんあいさつの励行、清掃、服装の徹底、交通ルールを守るなど、基本的な生活ルールの見直しをする「光中生活改善大作戦」を展開し、それが認められ今回の改正となりました。

また、保護者を対象にアンケートを実施したところ改正が必要であるとの回答が67%、どちらでもよいとの答えが22%あり、保護者からも長髪を要望する意見が多くありました。

改正の内容は次のとおりです。

- ※男女とも中学生らしい清潔感のある髪型とする。
- ①男子は、目、耳、襟にかなない程度とする。
- ②女子は、目、肩にかなない程度とし、それ以上長い場合は後ろで1つか2つで結ぶか編む。ゴムやピンは派手でなければよい。

「禁止事項」

○そり込み、パーマ、染色・脱色はしない。整髪料等は使用しない。

生徒自身の努力によって行われた今回の改正が、実りあるものになるよう各家庭のご協力をお願いします。

▼横断幕を張ってのPR



中学生 アメリカを訪問

平成3年度から姉妹校として交流を続けているアメリカ合衆国メイビル中学校を、11月5日から11日まで、中学生4人(濁川光宏君、郡司博久君、鈴木雅美さん、高野万里子さん)と山崎節子教諭が訪問しました。

この派遣研修は今回で2回目となります。ホームステイ先の和やかな交流や様々な体験を紹介します。

笑顔で通じた気持ち

2年 鈴木雅美

私達は、不安な英語と重い荷物を持ち、アメリカへと出発しました。生まれて初めてアメリカの地を踏み、これからの不安と好奇心で胸がいっぱいでした。メイビルへ行き、子供達から声をかけられても、話すスピードが速くて聞き取れず、笑顔だけを大切にしていま

したが、「慣れない環境」も最初だけで、徐々に慣れてきました。それは、メイビルの人達の優しさと笑顔があつたからこそだと思います。3日間のホームステイも、ホストファミリーの人が私を本当の家族みたいに接してくれて本当に嬉しかった。

言葉は違っているても「笑顔」で気持ちが通じ合える。私はそのことに対し、とても素晴らしいと思いました。

そんな、楽しい日々もあつたという間に過ぎ、別れの時がきました。『もう2度と会えない』という悲しさで涙が出てきましたが、またいつか、今度は、不安な気持ちを持たないで、再びアメリカの地を踏みに行きたいと思っています。

この6日間「素晴らしい」という言葉では言い表せないほどの感動を覚えることができました。



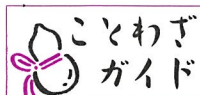
▲メイビル中にて
前列左から山崎教諭、高野さん、鈴木さん、郡司君、濁川君

思い出のメイビル

2年 郡司博久

大きな期待を抱きながらも飛行機に乗ると「大丈夫かなあ」と、少々不安になっていた。しかし、メイビルに着くと、そんな不安など一気に吹き飛んでいきました。なぜかというところ、メイビルの皆さんや、メイビル中の生徒の人達みんなが僕達にわかりやすく、気軽に話しかけてくれたからです。話しかけられているうちに、今度は自分から話しかけてみたいという気持ちが出てきました。

しかし、自分はまだ、英語の勉強が未熟なので難しい単語などが聞きとれませんでした。だから、どうしても相手の言っていることが分らなくて、あいまいな返事になったり、自分の言いたいことが話せない時、口でぶつぶつつぶやいてしまいました。それがとても残念に思いました。また外国に行かないとも限りません。特に英語に力を入れて勉強し、自分の考えをはっきり相手に伝え、相手の言いたいことをきちんと理解できるようにしたいと思いました。



うめ 梅 に 鶯

取り合わせのよいもの、よく似合って調和する
2つのもののたとえ
類句 松に鶴 / 竹に雀